

# 生老病死

最近、老々介護の座談会で、妻と息子を介護された89歳男性のお話をお聞きしました。出席された方々も、現在介護中の方や介護された方でした。それぞれ、人として生や死のあり方色々ありました。

話を伺う中で、介護の基本は愛であると強く思いました。自宅、病院、施設での介護をされた方の心の持ち方は、相手を思いやり手を差し伸べることではありませんが、介護者自身がストレスが溜まり、大声をあげたり手を出すことありなど精神の持ち方のバランスを取ることが大切であると思いました。そのためには人の手を借りることとは必要であり、公的・私設あらゆる機関にどんどん相談し、利用すべきであると思いました。

でも、そこにはお金という大きな問題が発生してきます。常日頃、自分や家族が倒れた時の対応を一度は想像してみることが大切です。過ぎてしまえば、何とかなるものですが、この記事を読んだら自分なりの手順を考えてみて下さい。財産を含めて自分自身の後始末を。

ではまた 仙成こと杉山六郎

## 六郎の一口話 今昔生活話講演

7月26日(日)午後7時より

駅前ふれあい館階で開催します。

資料代三百円

お申込み TEL&FAX (3807) 3486

## ☆六郎が語る☆ 南千住一口話 第165回

今年雨が多く湿度が高い日が続きお花もなかなか咲いてこない状態が続いています。湿度が高いとカビの発生も多くて困ります。今月は、お花を少しでも長持ちさせる方法を簡単にいくつか紹介します。

### ◇切り花の場合

切り花の場合はまず花瓶を清潔にすることが大切です。水を替える際には必ず花瓶の中も綺麗に洗ってください。洗い残しがあると、そこからバクテリアが繁殖して水を腐らせてお花にも影響します。お花も茎がヌルヌルする場合は茎も洗ってください。そして茎を1センチぐらい切り戻します。切り口が新しくなることでお花が水を吸いやすくなります。

できれば、お花の延命剤を入れます。水500ccぐらいに対して延命剤は10ccぐらいで大丈夫です。あまり多く入れすぎると逆にお花を痛めてしまいます。延命剤を入れたら水が濁ってくるまではお水を足します。水が濁ってきたら水を取り替えてまた延命剤を入れます。延命剤がなければ食器用の漂白剤でも構いませんが漂白剤は強いので入れすぎるとお花がすぐに枯れてしまいます。花瓶が漂白剤が使える素材か確かめてから使ってください。漂白剤の場合は2, 3滴で大丈夫です。漂白剤は雑菌を抑える効果があります。

### ◇鉢花の場合

鉢花の場合は、花が終わった花がらはこまめに摘み取ります。黄色や茶色に変色した葉も取り除きます。そして太陽に良く当てることも大切です。

この時期は雨が多く、なかなか日光には当てることが出来ませんが、日光に当たるようになれば、またつぼみを持つので少し時間が必要で、7月の定休日は29日です。



岡田生花店  
ベルポート汐入店  
営業10~19時  
水曜定休  
Tel・Fax3802-8716



### 子ども劇場の親子が高専訪問

都立 産業技術高専名誉教授 吉田喜一 六月十四日(日) 子ども劇場(荒川・台東・文京)の親子三十八人が高専に見え、科学技術展示館の飛行機見学・ロボコン製作現場見学・ものづくり講座に参加しました。感想を紹介します。

●日曜日なのに子供達のために見学させて頂きありがとうございました。近くに住んでいます、全く知りませんでした。ロボコンはテレビのニュースで見ただけもあり、何度も出ている学校が荒川区にあることもびっくりしました。プーマランがとても楽しく、自分で作ったものがそのまま飛んで戻ってきて本当に楽しい時間でした。子供達も興味深くやっていてよかったです。ありがとうございました。

●初めて高専の中に入って、実際にどんな活動をしているのかを知ることができたよかったです。紙飛行機やプーマランなど、家にある材料で作ることができ、こんなに楽しめるのだと改めて思いました。子供以上に私の方が真剣に楽しんでしまいました。ロボットについても、学生さんが丁寧に子供たちに分かりやすく説明して頂きありがとうございました。●おじいちゃんやしゅっしん校にこれくらいよかった(小学校入学前)。立派な設備に驚きました。モノづくりの好きな人の姿に安心しました。(母親)

### 「プレミアム付きお買い物物券」の 功罪を考える



消費生活  
アドバイザー  
佐藤祐一郎

今、全国の各自治体で、販売価格より1割〜3割程度多い金額の買い物ができる「プレミアム付きお買い物物券」の販売が花盛りです。荒川区では、本年5月31日に販売され、即日完売の販売所も相次ぐなど、人気の高さがうかがえます。

今年の特徴として、各自治体の補助金の他に、国からの助成金を加えて、プレミアム率がアップしていることが挙げられます。要は、消費を喚起して、地域経済のテコ入れと景気の向上を促し、ひいては延期された消費増税を今度こそ行うための布石であると考えられるのですが、私はこのような施策には懐疑的な思いがします。

当店でも、プレミアム券を利用し買物をして頂いたお客様がいらっしやるので、非常にありがたいと思う反面、券が売切れで買えなかったとか、券を買うだけのままとまったお金がなかったとか、そもそもそのような企画を知らなかったというような声を聞くこともあり、(税金を使っているにも関わらず)公平な施策とは言えない点に疑問を感じます。加えて、地元の商店街振興という側面から、利用できる店舗に限られており、特定の商店・地権者への利益誘導につながっているという点からも、公平さを欠く施策であると思います。

本当に望まれるのは、このようなバラマキ型の施策ではなく、子育て世帯や年金暮らしの方が困らないような各種のサポートやチャレンジ精神旺盛で、地域で独立開業を目指す若者への支援の手だと思っておりますが、いかがでしょうか。

「

プレミアム付き買い物券の功罪を考える